

若木書法 二十五 目次

名品の跋文にみる楊峴の鑑識眼

野村ひかり 1

伝亀山天皇筆「金剛院切」の新出断簡について

— 徳川ミュージアム所蔵「大手鑑」収載の一葉 —

金子馨 11

中世におけるいろは歌仮名手本の変遷

中山陽介 22

『洛陽名筆集』の刊行と展開

山口恭子 41

有栖川宮韶仁親王と書道

中澤伸弘 56

本朝三字経について

横倉佳男 64

江馬天江書六曲一双屏風について

鳥塚篤広 80

草双紙を用いた変体仮名の学習 — 探究学習への展開の可能性 —

森淳 90

《後記》

99

